

水痘（水ぼうそう）

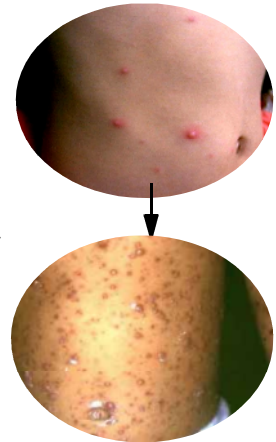
水痘とは？

水痘・帯状疱疹ウイルスが原因で起こり、1回かかると2度とかかりません。

「はしか」に次いで感染力が強く、兄弟がかかったり感染した子と接触すると、必ずといっていい程うつります。ただし生後半年以内の赤ちゃんの場合は、お母さんの免疫があるのでかかっても非常に軽くすみます。潜伏期は2週間前後です。発疹出現1日前からすべての発疹がかさぶたになるまで、他人にうつる可能性があります。

症状

赤い水疱状の発疹が全身（頭や口の中にもできます）にできるのが特徴で、発疹によって診断が可能です。発疹は3～5日をピクとして徐々にかさぶたとなり、1週間から10日間で乾燥します。かさぶたはその後徐々にとれますが、黒っぽい跡がしばらく残ります。ひどい場合には跡がずっと残ることもあります。熱は37～38度が数日間出る程度ですが、まれに高熱が続く場合もあります。



合併症

まれですが肺炎、脳炎などの合併症をおこす場合もあるので、高熱が続いたり吐き気が強いなどの場合は、早めに診察を受けて下さい。

治療

ヘルペスウイルスに効く「抗ウイルス剤」があります。これにより発熱や発疹を軽くすることができます。ただし、すぐに治るわけではありませんし、発症して時間がたつと効果がありません。また、軽い場合には使う必要もありません。水疱のかゆみ止めと乾燥を早めるため塗り薬を処方します。水疱の出ているところに、すり込まないように点々とおくような感じで塗ってあげて下さい。

看護

すべての発疹がかさぶたとなるのに、1週間～10日間位かかります。その間は外出、登園（登校）禁止です。登園（登校）する時には治癒証明書が必要です。入浴も医師の許可があるまで避けて下さい。

食事は普通で良いのですが、発熱や口の中にも水疱ができることにより、食欲がおちることもあります。刺激のないものを食べさせ、水分を沢山とるようにして下さい。

水疱をひっかくと次々に増えて長引いたり、化膿して重症化することがありますから、なるべくかかせないようにしましょう（しっかり塗り薬を塗ってあげて下さい）。

当院にて予防接種をおこなっています。水痘の患者さんと接触した後48～72時間以内に予防接種をすると、約60～80%の場合発症を阻止したり軽くさせることができます。ご希望の場合はご相談下さい。